

| | | | |
|---------------|---|---------|---------------------------|
| 科目名 | スタジオ演習 | | |
| 開講期 | 前後期 | 単位数 | 3 |
| 講師名 | 林 憲治 | | |
| 授業概要 到達目標 | <p>全ての写真は光と影で写ります。その光と影を自由にコントロールすることで自らの写真撮影に繋がり思い通りの表現が出来るようになります。この授業ではカメラの使い方は勿論のこと光源の大きさや方向で写り方が変化することを基本的にスタジオ内で学びます。</p> <p>この授業ではカメラの使い方は勿論のこと光源の大きさや方向で写り方が変化することを基本にスタジオ内で学び、理解することが到達目標です。</p> | | |
| 授業計画 | 回数 | 主題・目的 | 授業予定 |
| 前期 | 1 | カメラについて | デジタルカメラの使い方、フィルムカメラの種類と概要 |
| | 2 | 光について | 光源の大きさと光源の位置変化の違い |
| | 3 | 露出計について | 光をコントロールするために必要な露出計の使い方 |
| | 4 | 大型ストロボ | 取り扱い方法 |
| | 5 | 大型ストロボ | 各自のデジタルカメラで撮影 |
| | 6 | 中判カメラ | 人物撮影 1灯使用 |
| | 7 | 中判カメラ | 人物撮影 2灯使用 |
| | 8 | 4X5カメラ | アオリ等を含めた使い方の説明 |
| | 9 | 調整日 | |
| | 10 | 調整日 | |
| | 11 | デジタルカメラ | クリップオンストロボの使い方 |
| | 12 | デジタルカメラ | カメラを撮影 |
| | 13 | デジタルカメラ | カメラを撮影 |
| | 14 | パソコン | パソコンで画像処理 |
| | 15 | 予備日 | |
| 後期 | 1 | デジタルカメラ | 各自好きな物を撮影 |
| | 2 | デジタルカメラ | 黒デコラ板を使って撮影 |
| | 3 | デジタルカメラ | 黒デコラ板を使って撮影 |
| | 4 | デジタルカメラ | 水のペットボトルを撮影 |
| | 5 | デジタルカメラ | 水のペットボトルを撮影 |
| | 6 | デジタルカメラ | ガラスの撮影 |
| | 7 | デジタルカメラ | ガラスの撮影 |
| | 8 | デジタルカメラ | 人物撮影 バストアップ |
| | 9 | デジタルカメラ | パソコンで画像処理 |
| | 10 | デジタルカメラ | 人物撮影 全身 |
| | 11 | デジタルカメラ | モデルの撮影 |
| | 12 | デジタルカメラ | 見本からライティングを読み出して再現する |
| | 13 | デジタルカメラ | 見本からライティングを読み出して再現する |
| | 14 | デジタルカメラ | 見本からライティングを読み出して再現する |
| | 15 | 予備日 | |
| 評価方法 | 出席状況、課題、授業態度等 | | |
| テキスト 参考書 | | | |
| 講義の特徴 教員紹介 | 実際にスタジオにてライティングしながらの実習授業を基本とする。担当教員はフリーランスフォトグラファーとして、広告写真の業界において、様々な広告写真を手掛けてきた。その豊富な経験に基づき、写真の基礎、ライティングの基礎を理解させるための授業を展開している。 | | |

2021

区分

必修

対象

Ⅱ部2年

| | | | |
|---------------|---|------------|-------------------------|
| 科目名 | 画像処理Ⅱ | | |
| 開講期 | 前後期 | 単位数 | 3 |
| 講師名 | 羽立 孝 | | |
| 授業概要 到達目標 | <p>”イメージ”はコミュニケーションの一つです。”イメージ”を具現化し他者を介し昇華していく上で、デジタル写真をレタッチしていくことはとても重要なことになっています。</p> <p>個々の目的のイメージにより、その必要充分性は変化していきますがそれらの技術を幅広く習得し、またイメージ作成にあたり必要な技術を取捨選択し、最善の結果を得られるイメージづくりができることを目標とします。</p> <p>それぞれの今後の写真への取り組みへの明確な目標、また課題を持ち、授業に望んでください。</p> | | |
| 授業計画 | 回数 | 主題・目的 | 授業予定 |
| 前期 | 1 | 概要 | ペンタブレット・Bridge |
| | 2 | LightRoom | Lightroomの使い方 |
| | 3 | CaptureOne | CaptureOneの使い方(テザー撮影) |
| | 4 | Photoshop | レイターの仕組み(修復ブラシ・コピースタンプ) |
| | 5 | 選択範囲 | 選択範囲およびマスクの概要 |
| | 6 | パス① | パスの概要 |
| | 7 | パス② | パスの選択、使い方 |
| | 8 | 選択範囲 | 色 |
| | 9 | 選択範囲 | 輝度 |
| | 10 | ブラシ | ブラシ概要 |
| | 11 | トーンカーブ | 覆い焼き・焼き込み |
| | 12 | トーンカーブ | 濃度 |
| | 13 | トーンカーブ | カラー |
| | 14 | テスト | 前期内容 |
| | 15 | 回答 | |
| 後期 | 1 | CaptureOne | CaptureOne現像 |
| | 2 | スマートオブジェクト | 概要 |
| | 3 | スマートオブジェクト | 変形 |
| | 4 | スマートオブジェクト | フィルター |
| | 5 | スマートオブジェクト | 応用 |
| | 6 | 描画モード | 概要・スクリーン |
| | 7 | 描画モード | 乗算 |
| | 8 | 描画モード | 乗算 |
| | 9 | 描画モード | オーバーレイ |
| | 10 | 描画モード | オーバーレイ |
| | 11 | 描画モード | カラー |
| | 12 | 背景 | 背景処理 |
| | 13 | レイアウト作成 | Photoshop・Illustrator |
| | 14 | テスト | 後期内容 |
| | 15 | 回答 | |
| 評価方法 | 出席および授業態度 | | |
| テキスト 参考書 | 世界一わかりやすいPhotoshop 操作とデザインの教科書 | | |
| 講義の特徴 教員紹介 | <p>パソコン室での実習授業を基本とする。担当教員はフリーランスのレタッチャーとしてまたフォトグラファーとして、活躍しています。数々のフォトグラファーの撮影したファッション写真や広告写真をレタッチ（画像処理）し、最終的な写真に仕上げています。これまでつちかかってきた高度なレタッチ技術や現場での経験を活かし、レタッチ技術の応用を学ぶ授業を展開しています。</p> | | |

2021

区分

必修

対象

Ⅱ部2年
コマーシャル

| | | | |
|---------------|--|--------|---------------------------------|
| 科目名 | スタジオアドワーク | | |
| 開講期 | 前後期 | 単位数 | 3 |
| 講師名 | 出水恵利子 | | |
| 授業概要 | <p>光の方向性、感性を表現するための、技術力を磨くことを目的とします。画像処理等で仕上げず、撮影力を身につけます。光の考え方、基本ライトポジション、機材の活用方法など。人数によってはグループ分けをし、班ごとのスタジオ演習となります。課題の理解度が低い場合は、授業計画を変更し、同じことを何度も演習します。課題は、授業の時間内スタジオで仕上げること。リモートで参加は、リモート時間ごとに課題を掲げます。リモート授業内で仕上げ、リモート授業時間内終了までに提出してください。</p> | | |
| 授業計画 | 回数 | 主題・目的 | 授業予定 |
| 前期 | 1 | 授業概要 | 機材の使用法を確認 ライトポジション、セッティングの基礎の確認 |
| | 2 | 基礎 | 白バック／箱 |
| | 3 | 基礎 | 白バック／白い被写体 テカル素材 |
| | 4 | 基礎 | 白バック／白い被写体 マットな素材 |
| | 5 | 基礎 | 白バックイメージ |
| | 6 | 基礎 | 黒バック／黒い被写体 |
| | 7 | 基礎 | 黒バック／黒い被写体 |
| | 8 | 基礎 | 黒バックイメージ |
| | 9 | 光 | 透過光 ペットボトル 商品撮影 |
| | 10 | 光 | 透過光 |
| | 11 | 光 | 透過光イメージ撮影 |
| | 12 | 質感表現 | 金属 質感 フォーク／ナイフ |
| | 13 | 質感表現 | 金属 質感イメージ |
| | 14 | 質感表現 | 革製品 靴 |
| | 15 | 質感表現 | 革製品 イメージ |
| 後期 | 1 | 光・質感表現 | 透過光をビール又は炭酸飲料 |
| | 2 | 光・質感表現 | 透過光 ウィスキー |
| | 3 | 光・質感表現 | 写り込みだけイメージ撮影 |
| | 4 | シズル | 食材 シズル |
| | 5 | シズル | 食材 シズル |
| | 6 | 商品撮影 | パン撮影 |
| | 7 | 商品撮影 | パンイメージ撮影 |
| | 8 | 商品撮影 | ケーキ撮影 |
| | 9 | 商品撮影 | ケーキイメージ撮影 |
| | 10 | 商品撮影 | 課題提出／自由撮影 |
| | 11 | 商品撮影 | 化粧品 ルージュ |
| | 12 | 商品撮影 | 化粧品／パウダー |
| | 13 | 商品撮影 | 化粧品イメージ |
| | 14 | 商品撮影 | 時計 |
| | 15 | まとめ | 課題提出／自由撮影 |
| 評価方法 | 授業採点方法は、課題提出と出欠席です。欠席1回につきマイナス3点とします。 | | |
| テキスト 参考書 | コマーシャルフォト／still Life Imaging(南雲哲彦) | | |
| 講義の特徴 教員紹介 | スタジオでライティングしながらの実習授業を基本とする。担当教員はフリーランスのフォトグラファーとして、広告写真、商業写真など、多くの仕事を手がけている経験豊富なベテランフォトグラファーである。フリーランスフォトグラファーとしての経験をいかし、スタジオでの商品撮影の基礎を学ぶ授業を展開している。 | | |